

「就労めざし、働く意欲を持った生徒を育てたい」

県教委が高等特別支援学校について地元説明会開催

県教育庁義務教育課は25日、吉川高等特別支援学校（仮称）についての地元説明会を開催しました。同校については9月県議会でも耐震診断と改修設計費用約3億6000万円が一般会計補正予算に計上されていますが、担当課が地元で説明するのとは初めてです。

説明を聞いて、思った以上に高等部進学希望者が増え続けていることが分かりました。定員は1学年2学級20人程度となつていますが、最大で4学級40人となる可能性もあるといえます。同校の設置にあたって利用する建物は、吉川高校時代の普通教室棟、管理棟、第2体育館です。第1体育館や醸造科棟などは使わないそうです。いうまでもなく、グラウンドも使えません。管理棟は吉川高校時代とほとんど同じ使

方をする計画とか。何となくホッとしています。

「就労を目指し、働く意欲を持った生徒を育てる」「豊かな人間性と地域生活に進んで参加することができる生徒を育てる」などの学校の理念も明らかにされました。高等部知的障害普通学級のみを有する高等特別支援学校を設置し、自力通学できる生徒を対象に、地域資源を活用しながら就労を目指すという計画は県内でも初めてです。今後は定期的に地元住民との意見交換をやりながら、地域資源を生かした学校運営をしていきたいとのこと。これからが大事になってきますね。

説明会に参加したのは町内会長、地域協議会委員など20人ほどでしたが、同校の設置を歓迎する立場から、

「教室の配置の構想はどうか」「体育館の使い方はどうなるか」「吉川高校時代の記念品を入れる部屋を確保してほしい」「醸造科が使った建物等を活用して職業科の高等特別支援学校としても発展させていく考えはないか」などの質問や要望が出されました。教室の配置はいま設計中。工事は来年7月にはスタートさせ、雪が降るまで



高等特別支援学校になった場合、左の建物は普通教室棟に、右側の建物が管理棟になります。醸造科閉科などの記念碑はそのまま。手前の大きな木は生かされますが、奥の小さな木は伐採され、駐車場用地として活用されるとのことです。

12月議会の日程

会議の開始時間はいずれも午前10時からです。ぜひ傍聴にお出かけください。傍聴に来られましたら、日本共産党議員控室にもお立ち寄りください。お茶を準備してお待ちしております。

日	会議名	会議室	備考
2日(水)	本会議	議場	提案理由の説明。総括質疑
3日(木)	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員担当
4日(金)	厚生委員会	第1委員会室	平良木議員担当
7日(月)	建設企業委員会	第1委員会室	樋口議員担当
8日(火)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
9日(水)	本会議	議場	一般質問
10日(木)	本会議	議場	一般質問
11日(金)	本会議	議場	一般質問
14日(月)	本会議	議場	一般質問
15日(火)	本会議	議場	一般質問
17日(木)	本会議	議場	委員長報告 採決

には終わりたいとのことでした。

新型インフルエンザ対策、一歩前進

注目されている新型インフルエンザ対策ですが、子育て家庭の経済的負担の軽減を目的に、補正予算が組まれました。具体的には妊婦、1歳未満の小児の保護者、1歳から小学校6年生までの児童（約2万9200人）を対象に、ワクチン接種1回目1800円（実費は3600円）、2回目1200円（実費は2550円）の助成をすることが盛り込まれました。私たち議員団が申し入れていた全額助成の水準まではいきませんでした。これまでより一歩前進です。（裏面に申し入れに対する回答文掲載しました）



ムラサキシキブ



NO 1425
2009.11.29

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

